

本部長（知事）あいさつ

霧島市で発見された死亡野生イノシシについて、豚熱ウイルスの遺伝子検査を実施したところ、昨日、陽性であることが判明しました。

現在、農研機構動物衛生研究部門において、国の確定検査を行っているところでありますが、陽性と判定されれば、本県初となる野生イノシシの豚熱感染となります。

県では、県内の養豚場や関係団体に周知するとともに、発見場所から概ね半径１０キロメートル圏内の１０農場に、異状がないことを既に確認しております。

また、宮崎県における野生イノシシの豚熱感染確認を受けて、県はこれまで、豚熱経口ワクチンの散布を実施してきたところです。

今後、確定検査で陽性と判定された場合には、ウイルスが野生イノシシを介して養豚場へ侵入するリスクを低減させるため、さらに、範囲を広げて経口ワクチンの緊急散布を実施することとしています。

豚熱の防疫対策については、県職員はもとより、市町村、県猟友会、関係機関・団体の方々の協力を得て実施することとしております。

養豚は、農業産出額が９００億円を超える、本県の基幹産業であり、養豚場への侵入は、なんとしても防がなければなりません。

今後、更に高い防疫意識を持って、県職員・関係者が一丸となつて、野生イノシシの捕獲と検査を強化するとともに、防護柵や防鳥ネットの再点検、農場周囲の草刈りなどの野生動物の侵入防止対策を実施するなど、養豚場での飼養衛生管理基準の遵守徹底に万全を期していただきたいと思います。

県民の皆様へお願いです。

県民の皆様におかれましては、ウイルスの拡散を防ぐため、山に立ち入った際には、靴の泥は山で落としてくださるよう、御協力をお願いします。

また、県内で死亡イノシシを見つけた場合、触れずに県地域振興局又は市町村に御連絡してください。

本県の基幹産業である養豚業を守るため、県民の皆様の、より一層の御協力をお願いします。

最後に、豚熱は、豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。

また、豚肉の摂取により、豚熱が人に感染することは世界的に報告されていません。

これらのことも御理解くださるようお願いします。